

## 課題本アンケートご協力をお願い

次回開催時には課題本読書会も行いたいなと思っております。

下記4作品の中から「課題本をきっかけに読んでみたい」「読んだことはあるけど他の方と意見交換・感想を共有してみたい」作品を一つお選びください。

番号	タイトル	著者名	頁	あらすじ
1	夫婦善哉 決定版	織田作之助	320	惚れた弱みか腐れ縁か、ダメ亭主柳吉に尽くす女房蝶子。気イは悪くないが、浮気者の柳吉は転々と商売を替え、揚句、蝶子が貯めた金を娼妓につぎ込んでしまう(「夫婦善哉」)。新発見された「続夫婦善哉」では舞台を別府へ移し、夫婦の絶妙の機微を描いていくが…。
2	夜は短し歩けよ乙女	森見登美彦	320	「黒髪の乙女」にひそかに想いを寄せる「先輩」は、夜の先斗町に、下鴨神社の古本市に、大学の学園祭に、彼女の姿を追い求めた。けれど先輩の想いに気づかない彼女は、頻発する“偶然の出会い”にも「奇遇ですねえ!」と言うばかり。そんな2人を待ち受けるのは、個性溢れる曲者たちと珍事件の数々だった。山本周五郎賞を受賞し、本屋大賞2位にも選ばれた、キューートでポップな恋愛ファンタジーの傑作。
3	家守綺譚	梨木 香歩	208	庭・池・電燈付二階屋。汽車駅・銭湯近接。四季折々、草・花・鳥・獣・仔竜・小鬼・河童・人魚・竹精・桜鬼・聖母・亡友等々々出没数多……本書は、百年まえ、天地自然の「気」たちと、文明の進歩とやらに今ひとつ棹さしかねてる新米精神労働者の「私」=綿貫征四郎と、庭つき池つき電燈つき二階屋との、のびやかな交歓の記録である。
4	高瀬舟	森 鷗外	292	自殺に失敗し、苦しむ弟。彼を殺して島送りにされる喜助に、罪はあるのか。人間のもつ不可思議、尊厳を見つめた表題作。

お名前 \_\_\_\_\_

1~4の中から選び、右の枠に番号の記入をお願いします。  
(複数回答された場合はすみませんが無効票となります)

上記4作品の他に課題本にしてみたい作品がありましたら、こちらにご記入ください。次回投票時の候補にあがっている……かも？

裏面もあります!